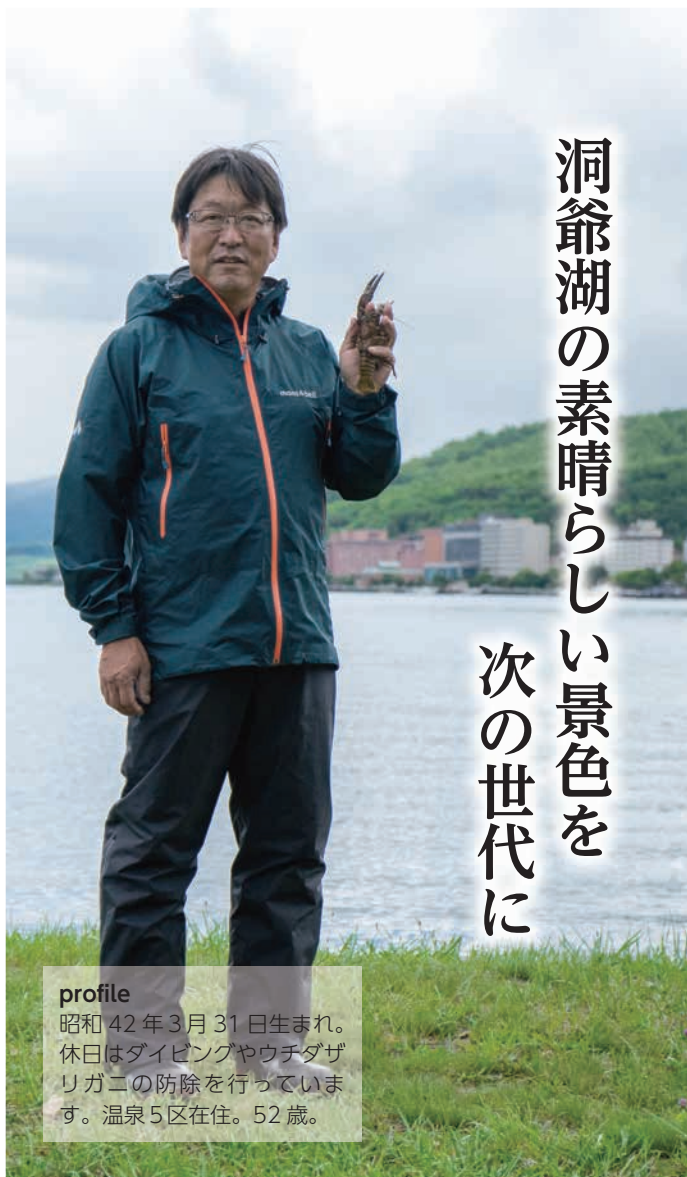




洞爺湖の素晴らしい景色を

次の世代に

profile

昭和42年3月31日生まれ。
休日はダイビングやウチダザリガニの防除を行っています。温泉5区在住。52歳。

Spotlight

スポットライト



UW クリーンレイク洞爺湖代表

室田 欣弘さん

「ウチダザリガニの防除を始めてから13年、少しづつ数が減ってきて安心してます。それでも、2017年財田地区で新たに見つかり、対策に頭を抱えています」
洞爺湖のウチダザリガニの現状を語るのにはUWクリーンレイク洞爺湖代表室田欣弘さん。2007年に同団体を立ち上げ、ウチダザリガニの防除をしています。
室田さんは洞爺湖町出身で地元の虻田高校を卒業後、現在まで、実家の自動車整備工場に勤めています。
ウチダザリガニは特定外来生物に指定されていて、洞爺湖では2005年に初めて発見され、室田さんが第1発見者の1人でした。
洞爺湖で生息が拡大すると、水を浄化する貝や魚の稚魚、卵が食べられるなど生態系に異変が起こります。
「ウチダザリガニを見つけたいのは父さんなの？どうして防除しないの？」と息子さん

に素直な疑問を投げかけられたことなどをきっかけに、防除活動を始めようことを決意。
ウチダザリガニの防除はエサ入りのカゴを湖に仕掛ける方法で、温泉地区は7月～10月中旬頃までの平日に、洞爺地区は同時期の休日に行っています。

「地域住民の理解を深めるためにフォーラムを行ってきましたが、洞爺湖を訪れる観光客などに対してどのように周知すべきか悩んでいます」と普及啓発活動の方法を模索しています。

「周りのサポートや酪農学園大学の協力があるので、地道な活動も続けられ、モチベーションにも繋がります」と周囲の支えに感謝している室田さん。

「洞爺湖の素晴らしい自然を次の世代にしっかりと残していきたい。洞爺湖でしか見ることのできない美しい景色や体験ができるように、自然を保全していくことが大切です」と語り、洞爺湖の自然を守る活動を続けています。

東奔西走



洞 洞爺湖温泉を発着点にして行われた北海道トライアスロン。過酷な挑戦をする鉄人たちの撮影は、熱が入りました。洞爺湖・羊蹄山麓周辺の豊かな自然に囲まれての撮影は気持ちよかったです。(C.K)

朝 晩の風が涼しくなり、すっかり秋の気配を感じる今日このごろ。北海道の短い夏も終わってしまいましたが、イベントの取材でまだまだ汗をかきそうです。(M.O)

今月のワンショット



洞爺財田自然体験ハウスで行われたウチダザリガニ防除体験